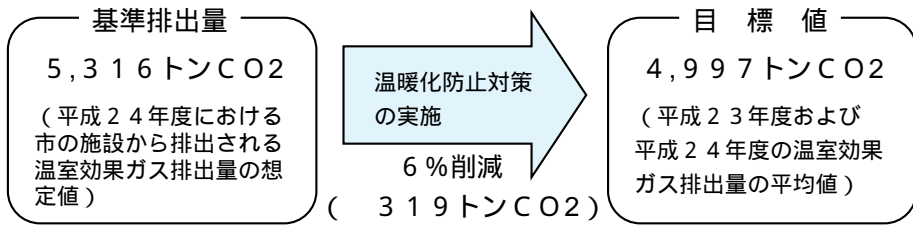


目標値の設定方法



第2次地球温暖化防止対策実行計画を策定しました

地球温暖化は、地球規模の環境問題として全世界でさまざまな取り組みが進められています。洞爺湖サミットでも主要議題の一つとして積極的な議論が交わされました。市でも、平成13年度から平成17年度までの5年間に渡り、第1次地球温暖化防止対策実行計画に基づき、温暖化防止対策に取り組んでまいりましたが、より一層の温暖化防止対策を推進するため、「第2次地球温暖化防止対策実行計画」を策定しました。緑あふれるあきる野市を将来の世代に守り残すため、温暖化防止対策に取り組めます。

- 2次計画の概要
計画期間：平成20年度～平成24年度（5年間）
対象：市の施設から排出される温室効果ガス
- * 大規模施設（小・中学校を除く）では、運用改善などを進め、温室効果ガス排出量を5割削減します。
 - * 照明をすべて確認し、間引きまたは常時消灯を徹底します。
 - * 機器の省エネルギーモード設定の適用などにより、使用面での省エネルギーを行います。
 - * 省エネ型生活10か条を掲示します。
 - * 省エネ型生活10か条を掲示します。

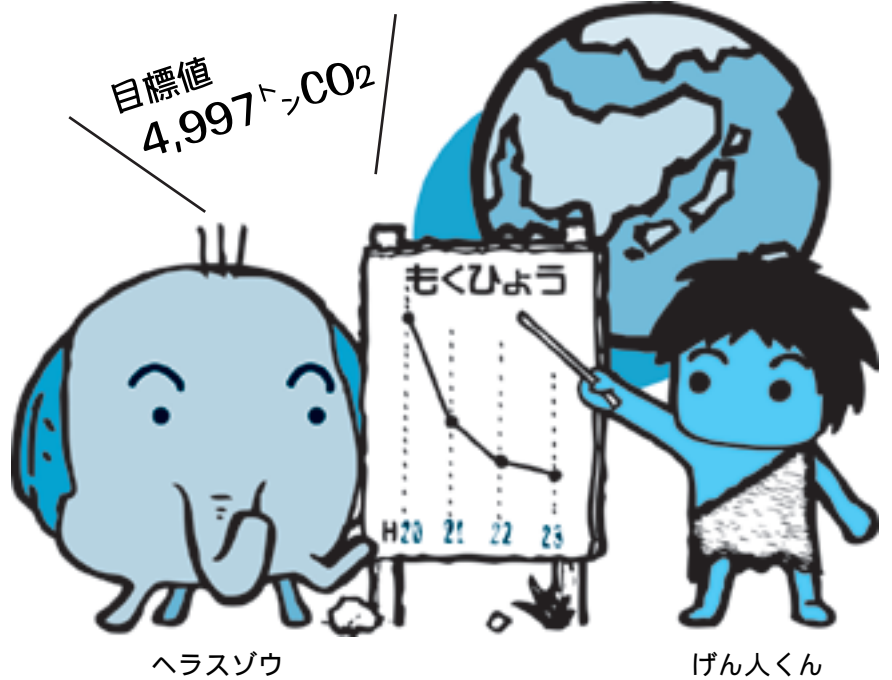


表 2次計画のポイント

課 題	1次計画（平成13年度～平成17年度）	2次計画（平成20年度～平成24年度）
気候差の対策	基準排出量や目標値をそれぞれ平成13年度値、平成17年度値としたため、冷夏暖冬といった気候の影響で、冷暖房のエネルギー使用量が大きく変化し、温室効果ガス排出量が変わってしまい、純粋な温暖化対策の評価が困難となりました。	基準排出量や目標値の算出は、複数年度の平均値とすることで、気候の影響を最小限とします。
計画期間中の施設の新増改築や稼働時間の変更	市民サービス向上のため、施設の稼働時間の延長などを行いました。目標値の設定には反映されておらず、温室効果ガス排出量の増加につながり、純粋な温暖化対策の評価が困難となりました。	各部門にヒアリングを行い、施設の新増改築や稼働時間の延長も見込んで、目標値の設定を行いました。
温暖化対策の具体的な取り組み	一般的な温暖化対策の取り組みを中心とした結果、一定の効果はあったものの、目標を達成することができませんでした。	各部門と十分な調整を重ね、市の実情に即した温暖化対策を実施することにより、目標の達成をめざします。

平成21年3月31日
「特別慰労品」贈呈の
受付が終了します

恩給欠格者、戦後強制抑留者、引揚者の「ご本人」に「特別慰労品」を贈呈していただきます（遺族の方は対象になりません）。
未請求の方は、申請してください。

引揚者は、終戦の日まで引き続き1年以上外地で生活し、戦後引き揚げてきた家族全員
その他 資格要件など詳しくは、問い合わせください。
申請・問合せ 生活福祉課庶務計画係（直通558・1927）、独立行政法人平和祈念事業特別基金（0120・234・933、月曜～金曜日 午前9時15分～午後5時15分、<http://www.helwa.go.jp>）

光化学スモッグに注意しましょう

発生しやすいとき
弱い南風するとき
気温が20度以上するとき
日差しが強いとき
大気がよどんで視界が悪いとき

詳しくは、6月1日号または <http://www.ox.kankyo.metro.tokyo.jp/smog.htm>（ハン） <http://www.ox.kankyo.metro.tokyo.jp> /ox.php（携帯電話）で発生情報が得られます。

めざせ

健康あきる野 21

健康情報「健やか」(7)

～そうだ、やっぱり早起き・早寝＆朝ごはん～



子どもの生活習慣の乱れを改善し、学力や体力の基となる望ましい生活習慣を確立するため、東京都では「子どもの生活習慣確立プロジェクト」をスタートしています。この中で、早起き・早寝と朝ごはんの大切さを伝えていきます。

早起き・早寝が大切なわけ
人は日中に動く体のしくみになっている。そのリズムを崩すと体や心がよく発達させることができなくなる。朝の光を受けて体内時計をリセットする。体内時計の働きで睡眠、体温、ホルモンの分泌などのリズムも刻まれる。夜に浴びる光は体内時計と地球時間のズレを大きくする。成長と体の修復に必要な

ホルモンは夜寝ているときにたくさん分泌される。睡眠のリズムが乱れると体温のリズムが乱れ、日中ぼんやりしたり、疲れやすくなる。朝ごはんが大切なわけ。体のリズムを整える。朝ごはんを食べると、エネルギーがいきわたって体が目を覚まし、動きやすくなる。体温を上げる。体温が低いままだと、脳の温度も下がったままなので、午前中から眠くなる。脳にエネルギーを補給する。特に体内時計は乳幼児期からリセットされるので、親子で取り組むことが大切。改善しよう！子どもたちの生活リズム。まずは「早起き」にチャレンジ。カーテンを開けて朝の光を浴びましょう。顔を洗いましょう。家族でも「おはよう」のあいさつをしましょう。朝ごはんを食べましょう。朝ウンチの習慣をつけましょう。問合せ 健康課健康づくり係

